

6 研究計画（平成25年度～平成28年度）

平成26年度以降の3年間では、「教育プログラムの構築」を柱に研究を進めました。そして、キャリア教育の視点に立った生きる力である「かかわる力」「きめる力」「はたらく力」の醸成をめざした教育活動を実践しました。さらに、それに伴って改善を重ねた教育課程のもと、「個々の児童生徒の育ちに着眼した実践研究」に取り組みました。

本研究では、学校システムの再考として取り組んだ学校改革の成果と課題、「ARA・SHI's PATH」から見える現状と課題から、下記のように、研究主題を具現化する3年間の研究計画を設定しました。

1年次（基礎研究）—ARA・SHIのキャリア教育実践の概念づくり—

「育てたい力」を育むための学習内容の検討と「育てたい力」一覧表を今後どのように活用していくか運用プロセスを共有し、その活用の方向性の検討に重点を置く。

☆ブレイン・ライティングによる学校課題発見。

☆ARA・SHI's PATHの共通理解。

☆教師一人一事例研究による他校の先生方と実践発表交流を兼ねた「実践発表交流会」開催。

☆学習内容表の作成。

2年次（実践研究）—「育てたい力」を育む「Oスタイル」に基づく実践—

教育課程に配置された指導形態ごとに、年間を通じて扱う学習内容の検討及び精選された学習内容を「育てたい力」と結びつける学習指導案の運用に重点を置く。

☆授業づくりにおける包括的プログラム「Oスタイル」の試行。

☆目標、学習活動、指導方法がつながる指導案の運用と学習評価の工夫。

☆教科別の指導に関する外部講師による職員研修実施。

☆ARA・SHI教育研究会開催。（一人一事例研究による実践発表）

☆学校改革における授業改革。授業づくりのプロセスの共有と効率化。

3年次（実践検証）—実践検証と教育プログラム構築—

個々の児童生徒のキャリア発達における「育てたい力」一覧表の検証と教育プログラムの構築及び3年間の研究のまとめに重点を置く。

☆授業づくりにおける包括的プログラム「Oスタイル」の全校運用。

☆学習評価の充実に向けた指導案、評価シート、評価分析シート等の活用。

☆一人一事例研究による「育てたい力」一覧表の評価。

☆公開研究発表会に向けた研究活動の充実と、発表会で得た評価のフィードバック。